

# 八王子市中心市街地公共トイレ環境づくり基本方針 (素案)

※写真や図表、コラムの掲載については調整中です。

## 目次

第1章 はじめに .....	2	第4章 基本方針の実現に向けた取組 .....	12
1 基本方針策定の背景		基本方針1 みんなが安心快適に使えるトイレ環境づくり	
2 トイレ環境づくりの方向性		1-1 ユニバーサルデザインを取り入れた整備	
3 基本方針の位置づけ		1-2 清潔感を維持しやすい整備と清掃の実施	
第2章 公共トイレの現状と課題 .....	5	1-3 防犯や防災に配慮した取組	
1 公共トイレに対するイメージ		基本方針2 みんなが誇れる個性豊かなトイレ環境づくり	
2 市有公共トイレの現況と利用状況		2-1 環境や景観に配慮した整備	
3 バリアフリースイロを取り巻く状況		2-2 多様性に配慮したサイン等の整備	
4 災害時等のトイレを取り巻く状況		2-3 新たな資源として魅力的な施設づくり	
5 中心市街地公共トイレ環境の課題		基本方針3 みんなで育み支えるトイレ環境づくり	
第3章 基本方針 .....	10	3-1 維持管理に関する情報共有の場づくり	
1 中心市街地公共トイレ環境づくり基本方針		3-2 利用者意識向上のための協働事業の実施	
2 基本方針と課題の関係		3-3 連携によるトイレ活用と情報発信	
		第5章 共創による取組展開 .....	20
		1 公共トイレ環境の高質化に向けた考え方	
		2 公共トイレ環境の高質化に向けた取組手法例	
		3 「共創」によるリーディングプロジェクト	

# 第1章 はじめに

## 1 基本方針策定の背景

- ◆ 八王子市では、平成28年（2016年）3月に「八王子市中心市街地まちづくり方針」を策定し、歴史ある市街地の保全と適切な更新や、都市生活を楽しむことのできる空間の整備などを進めてきました。
- ◆ 近年、八王子駅周辺を含む中心市街地では、新たな施設がオープンするなど中心拠点にふさわしい都市機能の充実が図られています。一方で、来街者の滞在時間は短く、「回遊・滞留の場の確保と高質化」などに積極的に取り組む必要があります。
- ◆ トイレは、自宅でも外出先でも、年齢・障害の有無に関わらず人間にとって不可欠な施設です。そのため、だれもが快適に利用できる公共トイレを整備していくことは、子ども、高齢者、障害者をはじめとするあらゆる人々が行動範囲を広げるための重要な要素です。
- ◆ また、“だれもが快適に利用できる公共トイレ”を実現するため、建築家やデザイナーが参画し、優れたデザイン・クリエイティブの力で社会課題の解決に挑戦する「THE TOKYO TOILET」（日本財団）や、トイレに対する関心や意識を集めるため「八王子トイレ大賞」（八王子商工会議所）が実施されるなど、社会的にも公共トイレに対する関心が高まっています。
- ◆ さらに、令和2年（2020年）「霊気満山高尾山 人々の祈りが紡ぐ桑都物語」の日本遺産認定や、令和5年（2023年）「八王子市中心市街地活性化基本計画」の認定を経て、「八王子らしさを感じ、巡りたくなるまち」という方針のもと、回遊性・滞留性の強化につながる場や機会の創出や、協働や共創によるまちづくりが期待されています。



令和4年～ 東京たま未来メッセ



令和4年～ 桑都テラス



令和5年～ えきまえテラス



令和8年 八王子駅南口集いの拠点  
(予定)



THE TOKYO TOILET（日本財団）



トイレ大賞（八王子商工会議所）

## 2 トイレ環境づくりの方向性

### (1) 基本方針策定の目的

- ◆ 八王子市中心市街地まちづくり方針における戦略の1つである「回遊・滞留の場づくり」を進めるため、トイレ環境への配慮や考え方、整備の方向性を定める「八王子市中心市街地公共トイレ環境づくり基本方針」の策定しました。

### (2) 本方針における用語の定義

- ◆ 本方針の対象とする「トイレ環境」とは、単なるトイレ施設にとどまらず、水環境や利用・清掃・管理する人との関係性、トイレに対するイメージなど、トイレを取り囲んでいる自然・社会・文化的な環境であると捉えています。
- ◆ 「公共トイレ」とは、不特定多数の人が外出先で自由に利用できるトイレを指します。路上や公園等に設置される公衆トイレに限らず、公共施設、駅、商業施設等に付随して設置され、設置者は、公共団体のみではなく、民間事業者も含まれます。
- ◆ 「バリアフリートイレ」とは、「多機能トイレ」と呼ばれていたものなど、高齢者や障害者等の利用に適正な配慮が必要なトイレを総称した表記です。「車椅子使用者等優先トイレ」と同じ意味です。



駅や商業施設の  
トイレ



公共施設のトイレ



道路のトイレ



公園のトイレ

公衆トイレ

公共トイレ

中心市街地の公共トイレ

### コラム1

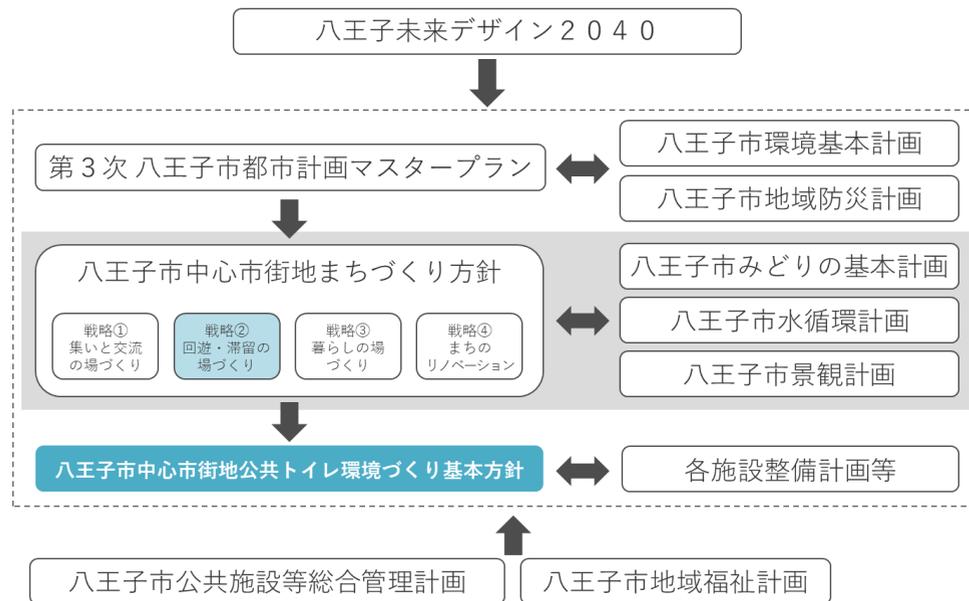
別途、作成中

# 第1章 はじめに

## 3 基本方針の位置づけ

### (1) 基本方針の位置づけ

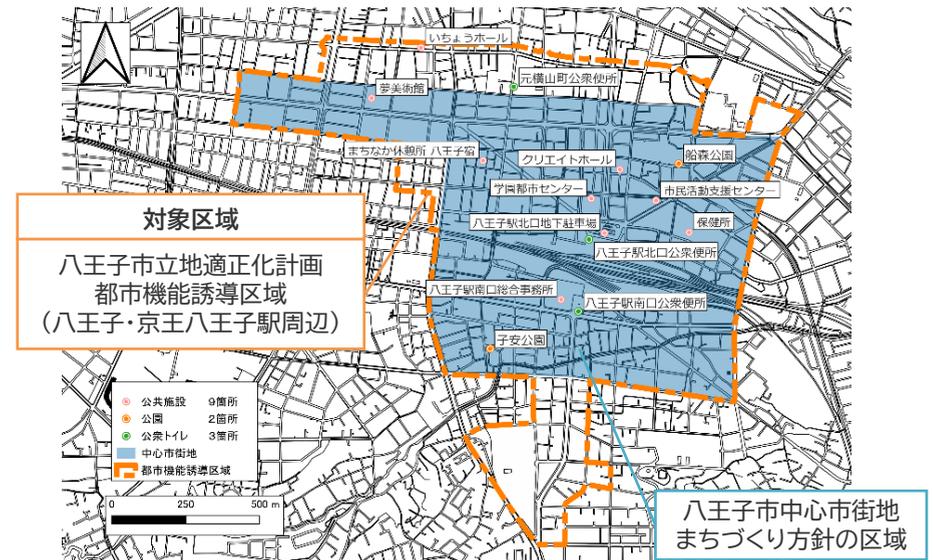
- ◆ 「人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子」を基本理念とする八王子市では、令和5年（2023年）3月に基本構想・基本計画「八王子未来デザイン2040」を策定し、「地域自治」「共創」を未来を拓く原動力として、取組を進めています。
- ◆ 本方針は、「八王子市中心市街地まちづくり方針」（平成28年（2016年）3月）の戦略である「回遊・滞留の場づくり」等を推進するため、「第3次八王子市環境基本計画」（令和6年（2024年）3月）や「八王子市景観計画」（平成30年（2018年）9月）、「八王子市地域防災計画」（令和4年（2022年））、「八王子市公共施設等総合管理計画」（平成29年（2017年）3月）など、分野別計画との整合を図ります。



八王子市中心市街地公共トイレ環境づくり基本方針の位置づけ

### (2) 対象区域と適用範囲

- ◆ 対象区域は八王子市中心市街地まちづくり方針の区域を含む八王子市立地適正化計画の都市機能誘導区域（八王子・京王八王子駅周辺）とします。
- ◆ 適用範囲は対象区域の公共トイレとし、市有施設については基本方針の内容に基づき取組み、駅や大規模商業施設の所有者に対しては基本方針に沿ったトイレ環境の整備を推進していくよう働きかけます。
- ◆ 八王子全体のトイレ環境がより良くなることを目指して、地域別のまちづくり方針や施設整備計画等との整合をふまえ、対象区域以外での取組を検討します。さらに、市民や事業者など八王子に関わる全ての方に、トイレ環境づくりの参考として、幅広く活用されることを期待します。



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものです。  
(承認番号) 6都市基交著第93号

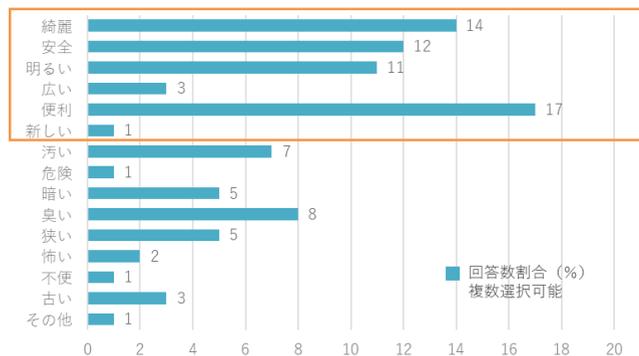
対象区域と市有公共トイレ立地状況

## 第2章 公共トイレの現状と課題

### 1 公共トイレに対するイメージ

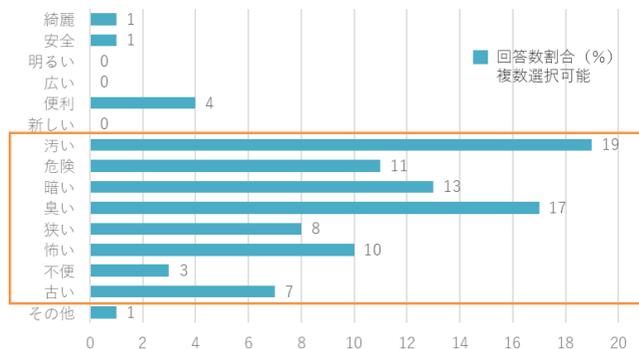
(1) 中心市街地公共トイレに関するアンケートより

- ◆ 中心市街地における利用することが多い商業施設などの公共トイレに対しては、「便利 (17%)」「綺麗 (14%)」「安全 (12%)」などポジティブな印象を持っている傾向にあります。



公共トイレに対する印象アンケート結果

- ◆ 一方、公園や道路の公衆トイレに対しては、「汚い (19%)」「臭い (17%)」「暗い (13%)」「危険 (11%)」が上位となっており、ネガティブな印象を持っている傾向にあります。



公衆トイレに対する印象アンケート結果

(2) アンケート自由意見より (公衆トイレについて)

- ◆ 「余程のことがない限り使う気は起らない」「汚い臭い状態の印象しかない」など、公衆トイレにはあまりよいイメージや経験がないと言われています。
- ◆ 公衆トイレの維持管理の問題として、「トイレをきれいに使わない人が多い印象」「公園などは使用する側もマナーがよくない」など言われており、衛生面や安全性が不十分なことが、結果的に利用者のマナーの低下を招いています。

公共の場のトイレなので利用者ひとりひとりがきれいに使えばいいと思うのですが、そうではない人が多いため汚いトイレが多いような印象です。子供がいる身だと色々と考え、公園や道路にあるトイレには入らないようにしています。(30歳代女性)



アンケートの自由意見の声



船森公園トイレの現況

## 第2章 公共トイレの現状と課題

### 2 市有公共トイレの現況と利用状況

#### (1) 市有公共トイレ現況調査より

- ◆ 中心市街地における公共トイレのある施設は14施設です。公園や道路の公衆トイレのうち近年改修等していないのは、船森公園（S60）、子安公園（S58）、元横山町公衆便所（H17）の3か所です。

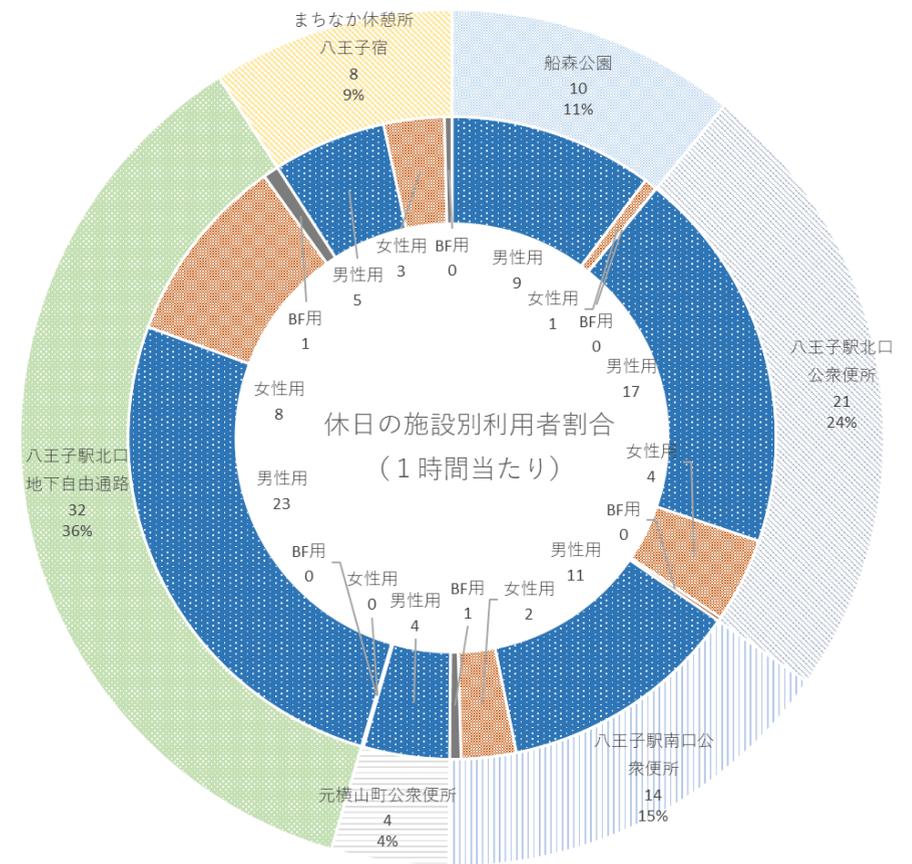
施設名	トイレ現況									建築年	改修年
	設置数	車椅子対応	個室和(共)	個室洋(共)	個室和(女)	個室洋(女)	個室和(男)	個室洋(男)	小便器		
八王子駅南口総合事務所	1	1	0	0	0	3	0	3	3	平成22年	無
市民活動支援センター	1	1	0	0	0	1	0	1	1	平成15年	無
生涯学習センター クリエイトホール	11	9	0	0	2	27	0	15	24	平成11年	平成30年
保健所	2	2	0	0	0	12	0	6	7	令和4年	無
芸術文化会館	5	2	0	0	0	14	0	12	14	平成6年	令和7年
学園都市センター	2	2	0	0	0	10	0	4	7	平成9年	令和2年度
夢美術館	1	1	0	0	0	3	0	2	3	平成15年	無
船森公園	2	1	0	0	1	0	1	0	2	昭和60年	無
子安公園	2	1	1	0	0	0	0	0	1	昭和58年	無
八王子駅北口公衆便所	1	1	0	0	0	2	0	1	4	昭和58年	平成25年
八王子駅南口公衆便所	1	1	0	0	0	2	0	1	2	平成22年	無
元横山町公衆便所	1	1	0	0	1	1	1	0	2	平成17年	無
八王子駅北口地下自由通路・駐車場	2	1	0	0	0	4	0	3	5	平成11年	令和2年※
まちなか休憩所 八王子宿	1	1	0	0	0	2	0	1	3	令和2年	無

※八王子駅北口地下自由通路の改修年。八王子駅北口地下駐車場は無。

中心市街地公共トイレの現況

#### (2) 市有公共トイレ利用実態調査より

- ◆ 近年改修等したトイレほど利用者人数が多く、女性の利用割合が高く、未改修のトイレほど利用を避けられている傾向があることがわかりました。



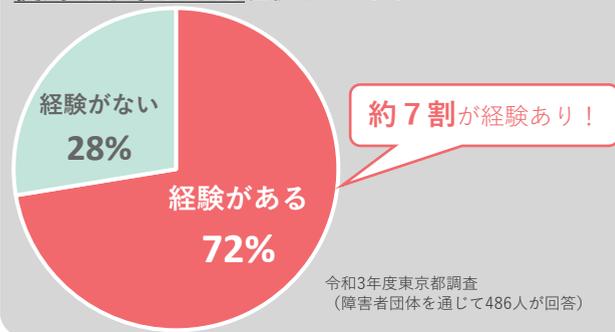
休日の施設別利用者割合

## 第2章 公共トイレの現状と課題

### 3 バリアフリートイレを取り巻く状況

- ◆ これまで「バリアフリー法」や「東京都福祉のまちづくり条例」などの法整備により、多機能なトイレの整備が進み、だれでも利用できるというイメージが浸透しました。
- ◆ 一方で、バリアフリートイレにオストメイト用設備、乳幼児用設備などの様々な機能を集約させたことや、一般トイレを利用できる人が使用することにより、利用が集中し、バリアフリートイレを必要とする人の利用が困難になるなどの新たな問題も明らかになっています。

バリアフリートイレが使用中で **待たされた** または **使用できなかった** 経験はありますか？



多様な利用者ニーズに配慮したユニバーサルデザインのトイレづくりハンドブック抜粋

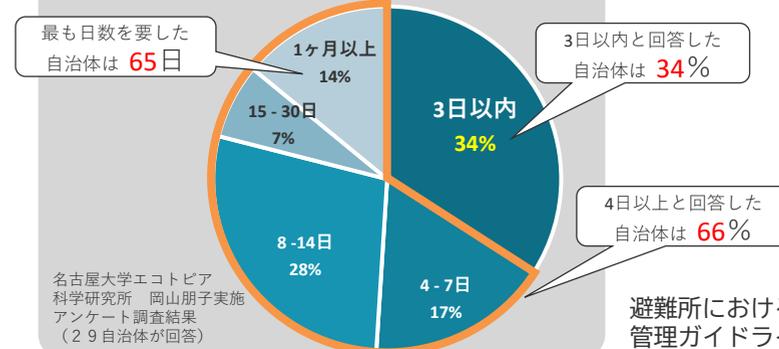
高齢者障害者用施設等の適正利用推進  
キャンペーンポスター



### 4 災害時等のトイレを取り巻く状況

- ◆ 災害時には、仮設トイレが被災地にすぐに届くとは限らず、発災から数日間でトイレが劣悪な衛生状態になった事例もあります。結果、トイレ使用を減らすため水分や食事を控えることとなり、避難者の心身の機能の低下が見られるなどの問題も指摘されています。
- ◆ また、八王子まつりなど大規模イベント時には、仮設トイレ等を設置していますが、トイレ不足や使いたいトイレが少ないなどの意見もあがっています。

東日本大震災で仮設トイレが被災地の避難所に行き渡るまでに要した日数



避難所におけるトイレの確保・  
管理ガイドライン (R4改定) 抜粋

八王子まつりの仮設トイレの様子



## 第2章 公共トイレの現状と課題

### 5 中心市街地公共トイレ環境の課題

◆ 中心市街地における公共トイレ環境の現状をふまえ、中心市街地の回遊・滞留の場の確保と高質化を図るために解決すべき課題を整理します。

		解決のキーワード
課題1	公共トイレに対するイメージの向上	→ 防犯面への配慮 付加価値の創出 共創・協働
課題2	未改修公衆トイレの利用環境の改善	→ 適切な維持管理 適切な施設更新 情報共有の場づくり
課題3	バリアフリートイレの利用集中解消	→ 機能の分散配置 わかりやすい案内 利用者意見の反映
課題4	災害時におけるトイレ衛生環境悪化の予防	→ 断水・停電の備え 省エネへの配慮
課題5	イベント時等のトイレ対策	→ 適切な情報発信 共創・協働

## 第2章 公共トイレの現状と課題

### 5 中心市街地公共トイレ環境の課題

- ◆ 課題解決の数値目標を設定します。これにより、「八王子未来デザイン2040」の重点テーマ「(3) 未来に続く都市づくり」の取組方針イの重要業績評価指標 (KPI) の目標達成に貢献します。

◆本方針に基づく取組 ■業績評価指標 (KPI) /目標値 (2030年度)
■中心市街地の公共トイレに対してポジティブな印象を持っている市民の割合 (複数回答累計)  <b>60% → 70%</b> (2024年度)
■中心市街地の市有公共トイレの平均利用者数 (休日)  <b>306人 → 372人</b> (2024年度)
■「八王子市公共トイレ認定制度 (仮)」による認定トイレ数  <b>0か所 → 10か所</b> (2024年度)



◆主な取組 (細施策) ■重要業績評価指標 (KPI) /目標値 (2030年度)
●取組方針 イ にぎわいと活力を生み出すため、新産業分野の事業創出や既存産業への支援を行うほか、公共交通の充実とともにウォーカブルなまちづくりを推進します。
◆施策2-2-1 計画的なまちづくり ◆施策2-2-3 主要駅周辺の拠点・回遊空間の形成
■八王子市を「居心地の良い場所」「訪れて楽しい場所」と感じている市民の割合  <b>82.1% → 90%</b> (2022年度)

## 第3章 基本方針

### 1 中心市街地公共トイレ環境づくり基本方針

◆ あらゆる人々が行動範囲を制限されることのない社会の実現を期待するとともに、【みんな】が快適に利用でき、「使いたいと思えるトイレ環境」を実現するため、基本方針を次のとおり定めます。

基本方針 **1** トイレ施設の機能の向上のため



みんなが安心  
快適に使える  
トイレ環境づくり

ユニバーサルデザインや機能分散、防犯面・防災面・衛生面などに配慮した取組などにより、みんなが安心快適に使えるトイレ環境づくりを目指します。

基本方針 **2** トイレ空間の質の向上のため



みんなが誇れる  
個性豊かな  
トイレ環境づくり

環境や景観への配慮、多様性に配慮したサイン等の整備、新たな地域資源となる魅力的な施設整備などにより、みんなが誇れる個性豊かなトイレ環境づくりを目指します。

基本方針 **3** トイレ環境への意識醸成のため



みんなで育み  
支える  
トイレ環境づくり

維持管理に関する情報共有の場づくり、事業者との連携によるトイレ活用・情報発信などにより、みんなで育み支えるトイレ環境づくりを目指します。

## 第3章 基本方針

### 2 基本方針と課題の関係

◆ 公共トイレ環境づくりの3つの基本方針と公共トイレ環境の5つの課題の関係をキーワードをもとに整理します。

基本方針 方向性	基本方針1 トイレ施設の機能の向上	基本方針2 トイレ空間の質の向上	基本方針3 トイレ環境への意識醸成
課題1 公共トイレに対するイメージの向上	防犯面への配慮 適切な維持管理	省エネへの配慮 付加価値の創出	適切な情報発信 共創・協働
課題2 未改修公衆トイレの利用環境の改善	適切な維持管理 防犯面への配慮	適切な施設更新	情報共有の場づくり 利用者意見の反映
課題3 バリアフリートイレの利用集中解消	機能の分散配置	適切な施設更新 わかりやすい案内	利用者意見の反映 適切な情報発信
課題4 災害時におけるトイレ 衛生環境悪化の予防	断水・停電の備え	省エネへの配慮	情報共有の場づくり
課題5 イベント時等のトイレ対策	断水・停電の備え	付加価値の創出	適切な情報発信 共創・協働

## 1-1 ユニバーサルデザインを取り入れた整備

### (1) トイレの基本構成

- ◆ 公衆トイレは、標準装備を定めるとともに「男性用トイレ（大便器1基・小便器2基）・女性用トイレ（大便器2基）・バリアフリートイレ（大便器1基）」の構成を基本とし、利用実態に合わせ必要数を追加します。
- ◆ スペースが限られているなどの制約がある場合は、バリアフリートイレを優先し、別途男性用小便器を併設するなど、利用の多い男性の小便のみの使用を避けるよう配慮します。
- ◆ 小さな子どもでも利用できるように、子ども用便座や子ども用の手洗い場の設置を検討します。

### (2) 設備を分散して設置する工夫

- ◆ 1つのトイレスペース内で、一般トイレへの設備を分散することで、車いす使用者とその他の設備を必要とする利用者の重なりを防ぐことができます。スペース等の制約がある中でも選択肢を増やすため、乳幼児用設備やオストメイト用設備を男女別トイレに分散した整備を進めます。
- ◆ 異性の介助・同伴が必要な人やトランスジェンダー等で男女別トイレを使いにくい人に配慮し、男女共用トイレを車いす使用者対応トイレとは別に設けることを検討します。
- ◆ 施設内にトイレスペースを複数設けてある場合は、乳幼児を連れてきた人で汚物流しが必要な人、車いすを使用するオストメイトなど様々なニーズに配慮した配置をフロアや複数階で組み合わせることを検討します。



おむつ交換台を男女別トイレに分散した事例（八王子駅南口公衆便所）



赤ちゃん・ふらっとして乳幼児用設備を分散した事例（まちなか休憩所八王子宿）

1-2 清潔感を維持しやすい整備と清掃の実施

(1) 清掃性を向上させる整備

- ◆ 清掃性を向上させるため、床と壁に目地が少ない素材の採用、凹凸の少ない空間形状にします。
- ◆ 大便による便器周囲の床の汚れを抑えるため、和式便器の洋式化を進めます。
- ◆ 抗菌効果や防汚効果、防臭効果が得られる光触媒（太陽光や蛍光灯などの光を受けることにより、特定の化学反応を促進させる働きをもつ物質）加工された床材や壁材等の活用を検討します。



目地の少ない素材「テラゾー」(ABC商会)

(2) トイレ環境に合わせた清掃方法

- ◆ トイレの利用状況や導入設備に合わせ、効果的な清掃方法を検討します。また、清掃頻度は、1日2回以上行う通常清掃（乾式）、1カ月に1回行う定期清掃（湿式）、年に1回の特別清掃を基本とします。

乾式清掃	水を使用しないので、乾燥した状態で清潔感を保ちやすく、頻度の高い清掃に適しています。尿石/汚れや破損の確認、ブラッシング、拭き取り作業を行う清掃方法です
湿式清掃	通常清掃で落としきれず溜まった汚れを専用の溶剤を使用し、水垢、黒ずみ、全体の黄ばみを除去する清掃方法です。
特別清掃	外壁、照明設備、換気扇、また屋根の上の落ち葉除去など見えないところまでくまなく行う清掃方法です。

コラム2

別途、作成中

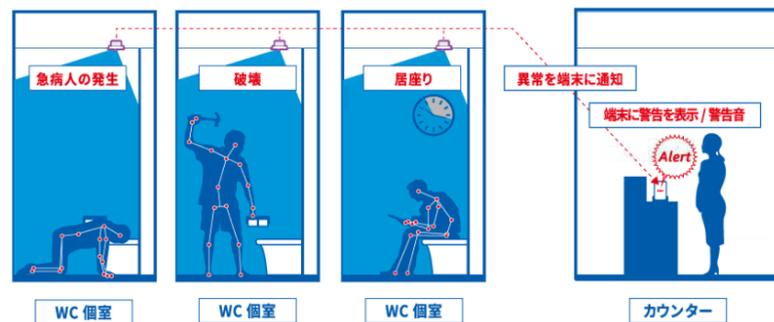
1-3 防犯や防災に配慮した取組

(1) 防犯に配慮した整備

- ◆ アンケートの自由意見では、安全性や防犯を求める声が多く、利用者のニーズが高いため、バリアフリートイレ及び個室には非常通報設備（回転灯とブザーなど）やトイレ内異常検知システムの設置や改善を進めます。利用者の緊急時に備え、長時間の使用が続いた場合も非常回転灯と非常ブザーが作動する仕組みとします。
- ◆ 利用者のプライバシーに配慮しつつ、人の出入りがある場所に防犯カメラを設置することで犯罪を抑止します。
- ◆ 無人となる時間が多い公衆トイレは、安全性の向上を図るため、できるだけ人通りが多く、目立つ場所へ出入口を配置し、トイレの躯体等により死角が生じないように配慮します。



非常通報設備



トイレ内異常検知設備

(2) 防災に配慮した取組

- ◆ 災害時には停電・断水によりトイレが利用できない事態も想定されるため、マンホールトイレの整備、簡易トイレの備蓄など平時から必要な備えを進めるとともに、トイレトレーラーの導入を検討します。
- ◆ 整備の際には、停電時でもトイレ機能を継続できるように太陽光発電や蓄電池の導入についても検討します。
- ◆ 八王子まつりなどのイベント時には、イベント主催者と協力し、防災訓練も兼ねて、仮設トイレやトイレトレーラーなどを活用することを検討します。



トイレトレーラー



マンホールトイレ



防災エコトイレ

防災トイレ例（防府市）

### 2-1 環境や景観に配慮した整備

#### (1) 環境に配慮した器具の設置

- ◆ 電気設備や衛生器具については、節水型や節電型のものを積極的に使用することで、環境に配慮し、かつ経済的にもやさしい整備を進めます。
- ◆ 手洗いに自動水栓を採用することでこまめに止水し、水の流し忘れを防止します。手洗い水洗、便器に節水型器具を採用することで、水使用量を削減します。サウンドマスキング（音姫など）を設けることで、消音のための洗浄水利用を低減させます。
- ◆ 節電については、照明器具を人感センサー付きLED照明へ移行することや、温水洗浄暖房便座を管理者側で作動時間を管理し、余分な光熱費を抑えることができるものを使用することで節電を図ります。
- ◆ 整備の際には、防災の観点に加え、省エネルギー化でも有効な太陽光発電や蓄電池の導入についても検討します。



太陽光パネルの設置



サウンドマスキング

#### (2) 地域の景観に配慮した整備

- ◆ 公衆トイレは、まち並み景観のアクセントとなり得る施設であり、利用者が公共のトイレやそのまちに抱くイメージを向上させるためにも、トイレ施設単体と周辺部分を含めたデザインを工夫します。
- ◆ 外観については、八王子らしい景観づくりの基準（八王子市景観計画、八王子市景観ガイドライン、八王子市公共施設景観形成マニュアル）に適合させ地域の景観に配慮します。
- ◆ 整備の際には、優れたデザインやクリエイティブの力を導入し、社会課題の解決に挑戦するとともに、「使いたいと思えるトイレ」の実現に向け、良好な景観形成に関し、先導的役割を果たす魅力的なトイレ施設とすることを検討します。

### コラム3

別途、作成中

## 2-2 多様性に配慮したサイン等の整備

### (1) JISピクトグラム・点字・多言語化

- ◆ トイレのピクトグラムや点字については、デザイン性とわかりやすさを兼ね揃えた整備を進め、利用対象及び個別機能を表示します。
- ◆ 温水洗浄機能や便器洗浄のボタン等についても多言語化を進め、誰もがわかりやすく利用できるトイレ環境の整備を行います。ただし、スペースが限られる場合は、非常用ボタン以外のものについては英語のみの併記とします。
- ◆ トイレのピクトグラムは、施設間で異なることにより、利用者が混乱しないように、設備や機能の名称を併記する場合もできる限り統一を図り、JIS規格で定められたものを使用します。

### (2) 地域や施設特性を考慮した色彩計画

- ◆ ピクトグラムや内装などの色彩に男女別（青/赤）の区別がある場合、性別役割の固定化や強制とを感じる人がいる一方で、男女別（青/赤）の区別がある方がわかりやすいと感じる人もいるため、施設特性を考慮し、わかりやすさや視認性を保ちつつ、その色彩である必要性をふまえた色彩計画とします。
- ◆ 色別による男女の区別の認識は幼少期からの刷り込みが一因となっていることから、幼少期に利用する施設では男女の色分けを行わないよう配慮します。



トイレに関連するピクトグラムの例

### コラム4

別途、作成中

2-3 新たな資源として魅力的な施設づくり

(1) 複合機能化による付加価値の創出

- ◆ 整備の際には、防犯性や利用者マナーの向上、施設管理のしやすさ等の観点から、トイレ単独ではなく、ほかの建築物との複合機能化による付加価値の創出を検討します。
- ◆ 日常的に使われるとともに、トイレ利用者以外の目が行き届くようにする観点から、まちの情報を発信するなどの機能やベンチなどの休憩機能、自動販売機などの利便機能の併設を検討します。
- ◆ 新たな整備の必要性が高まった場合は、公共施設マネジメント基本方針や公共施設の保有延床面積を縮減する方向性に沿って検討します。

(2) デザインの工夫による空間演出

- ◆ 地域の新たな資源となるような魅力のある空間を実現するためにも、優れたデザインやクリエイティブの力を導入し、立地や施設特性を考慮した外観・内装・照明計画とすることを検討します。
- ◆ トイレ内部を夜間も適切な明るさを保つとともに、外部にも照明を設けることで利用者だけでなく、周辺の歩行者が安心できるような照明計画とします。



ベンチ併設のトイレ事例（渋谷区）



内装を工夫したトイレ事例（新宿区）



防災・防犯機能のある自動販売機例（町田市）



夜間ライトアップのトイレ事例（渋谷区）

3-1 維持管理に関する情報共有の場づくり

(1) 維持管理協議会

- ◆ 誰もが快適に利用できる公共トイレ環境を維持するためにも、施設ごとの清掃報告や各トイレ診断報告をもとにした利用状況を把握し、維持管理業務の改善を図ることが必要です。関係者による情報共有や意識醸成手法の検討の場として、維持管理協議会を設立します。

(2) トイレ診断

- ◆ 公共トイレには、通常清掃だけでは解決できない設備的な不具合や拭いきれないニオイ、汚れもあります。そこで、第三者チェック機関として、専門家の立場から科学的な分析を行い、管理者に情報をフィードバックする役割を持つトイレ診断士によるトイレ診断を定期的に行います。

①トイレの健康状態をチェック

②汚れやニオイの予防方法を提案

③維持管理の方法を提案

トイレのお医者さん  
なんです。

トイレ診断士 いわば

出典：株式会社アムニティホームページ

トイレ診断の内容

3-2 利用者意識向上のための協働事業の実施

(1) 維持管理状況の見える化

- ◆ 清掃員のモチベーションを保つため、維持管理のしやすさだけでなく、きれいにしてくれている存在を、「あたりまえ」ではなく「ありがたい」存在と認識できるように人々の意識を変化させていくことも必要です。このため維持管理に関わる関係者を共通のユニフォームなどにより可視化することで、公衆トイレの維持管理に感謝と親しみが感じられる工夫を検討します。
- ◆ トイレの適正な利用を促すため、従来の取組に加えて新しいアプローチでトイレ環境全体を「デザイン」していくことを検討します。



TTTにおけるユニフォームの例

(2) 新設や改修時における利用者意見の反映

- ◆ 施設整備にあたっては、施設の用途や規模に応じた対応を検討し、オーバースペックにならずに、使い勝手のよい改善につなげるため、多様な利用者からその施設のトイレのニーズを聴くこととします。
- ◆ また、明らかになったニーズのうち、子ども用の設備や生理用品の提供設備など簡易的に設置可能なものについては、新設や大規模改修に限らず可能な範囲で既存施設に導入することを検討します。



## 第5章 共創による取組展開

### 1 公共トイレ環境の高質化に向けた考え方

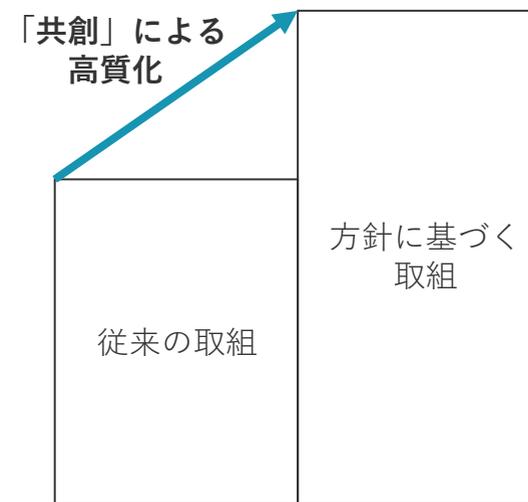
(1) 「共創」とは

「対話と共感から、新たなソリューション（解決策）を  
とも（共）に創り出すこと。」

- ◆ 「共創」は、市の最上位計画である「八王子未来デザイン2040」に掲げる「未来を拓く原動力」として、また、その行動計画である「八王子市経営計画」方針1「多様な主体による価値創造を促進する。」基本取組1-②「共創の実践」としても位置付けられています。
- ◆ 今回整理した課題や更なる課題に対応し続けるにあたって、企業、大学などとの対話と共感を起点に、とも（共）に考え、創造していく「共創」の手法を積極的に取入れます。
- ◆ また、活力あふれる自立都市の実現を目指していくために、市民・行政の互いの役割と責任ある行動による「協働」のまちづくりも進めていきます。

(2) 「共創」と「協働」の手法による高質化

- ◆ 一方で、経済の低成長や人口減少・少子高齢化により、市税を中心とした一般財源収入の減少や社会保障費の更なる増加が予測されています。そのため、歳入・歳出の間に乖離（歳入・歳出ギャップ）が生じ、今後はより厳しい財政状況になると考えられています。
- ◆ 以上のことから、本方針に基づく取組は、新たな価値の創出や財源確保の方法を含めて、「共創」と「協働」の手法により展開します。



公共トイレ環境の高質化に向けた考え方のイメージ

#### コラム6

別途、作成中

### 2 公共トイレ環境の高質化に向けた取組手法例

- ◆ 公共トイレ環境の高質化に向け、活用可能な「共創」と「協働」の取組手法例を紹介します。取組の実施にあたってはこれらの手法に限らず、社会環境の変化を考慮し採用していくものとします。

#### 1 プロポーザル方式・コンペ方式

- ◆ プロポーザル方式：対象業務に対する発想、課題解決方法、取組体制等の提案を審査し、市にとって最も適切な創造力、技術力、経験等をもつ事業者を選定する方式です。
- ◆ コンペ方式：建築物等の設計を目的とする契約で、設計内容に重点をおくべき場合において、対象業務に関する具体的な企画提案を審査し、市にとって最も優れた企画案を選定する方式です。

#### 2 クラウドファンディング・企業版ふるさと納税

- ◆ クラウドファンディング：自治体や認可団体等がプロジェクトオーナーとなり、ふるさと納税の枠組みなども利用して地域の課題解決のための資金を募る仕組みです。
- ◆ 企業版ふるさと納税：国が認定した地方公共団体の地方創生事業に対し企業が寄付を行った場合、最大で寄付額の9割を軽減することで、資金を募る仕組みです。

#### 3 ネーミングライツ

- ◆ ネーミングライツ：施設の持続可能な運営のために、市の施設等に愛称等を付与させる代わりに、企業や市民団体等からその対価等を得る方法です。
- ◆ 対価には、金銭の提供だけでなく、機器の更新・便器洗浄・トイレ診断・点検などの役務提供や、大学生を対象にしたトイレ内装デザインコンペの実施などの啓発事業実施も含まれます。

#### 4 事業者との連携

- ◆ 民間トイレの公共化：店舗等の善意による協力により、市民や来訪者が利用できるトイレを紹介する仕組みです。
- ◆ 生理用品の無料提供：サイネージ広告出稿企業の広告費から賄うことで、個室トイレに生理用ナプキンを常備し、希望者に無料で提供することができるサービスです。
- ◆ 自動販売機が多機能化：飲料メーカーなどが自動販売機の特性を活かし、情報発信や防犯カメラ機能等の付加により地域課題解決を図る取組です。

### 3 「共創」によるリーディングプロジェクト

- ◆ 本方針の考え方を具現化するため、リーディングプロジェクトを定めます。実行にあたっては、トイレ環境に対する社会的な関心を高められるようデザインを工夫するなど話題性に考慮します。実行後は、取組の効果や影響を検証し、その後の取組に反映します。

#### (1) 維持管理協議会の設立

- ◆ 使いたいと思われるトイレを維持するため、トイレそのものだけでなくトイレ環境全体を「デザイン」していく必要があります。そこで、トイレ診断の実施をきっかけに関係者による継続的な情報共有の場を設定し、維持管理協議会の設立を目指します。

#### (2) 民間トイレの認定制度構築

- ◆ 令和6年度、八王子商工会議所主催でトイレに対する関心や意識を集めるため、「八王子トイレ大賞」が実施されました。こうした機運の高まりをふまえ、「快適に使えるトイレ」や「トイレに関する意識啓発の取組」などを対象にした認定制度を構築します。

#### (3) 老朽化トイレの改修

- ◆ トイレ利用者は周辺の来訪者や住民に比例して増えていますが、改修など適切な施設更新が図られているトイレほど、女性の利用割合が高くなる傾向にあります。そこで、老朽化状態や、駅近くで相対的に利用者が多い実態などをふまえ、順次トイレを改修します。改修後は都度効果を検証し、整備水準なども含めて効果的な方法を検討していきます。

### コラム7

別途、作成中

参考

● トイレの標準装備案

すべての公衆トイレ  
を対象とした機能

敷地等の条件に  
より導入する機能

トイレブース (個室)	小便器	バリアフリートイレ (個室)	手洗い場 (トイレ個室外のもの)	外部・出入口
洋式便器 温水洗浄暖房便座	小便器	洋式便器 温水洗浄暖房便座	自動水栓	わかりやすく 統一されたサイン
ベビーチェア・二重ロック	手すり	ベビーチェア・二重ロック	温水	出入口の 防犯カメラ
傘かけ(荷物用フック)	傘かけ(荷物用フック)	サンタリーボックス (オムツ対応)	鏡	案内板
便座除菌スプレー	荷物置き	自動扉	傘かけ(荷物用フック)	利用できる機能のピクトグラム
上面にポーチやスマートフォンが 置けるペーパーホルダー	ターゲットマーク (小便器に貼るシール)	手洗い	手すり	太陽光パネル (屋根上)
サンタリーボックス (オムツ対応)	パーティション	小手洗い	オートソープ ディスペンサー	ベンチ
手すり		オストメイトトイレ	ハンドドライヤー	立水栓
緊急時押しボタン・異常発見設備		緊急時押しボタン・異常発見設備	化粧台	犬のリードフック
サウンドマスキング (擬音装置)		フットイングボード	子ども用手洗い場	マンホールトイレ
フットイングボード		大型ベッド		防災備蓄 (マンホールトイレの器具とテント、 簡易トイレ、蓄電池)
ベビーベッド				ベビーベッド
オストメイトトイレ				

● アドバイザー

◆ 東洋大学 名誉教授 高橋儀平 様

◆ 工学院大学 建築学部 まちづくり学科 教授 野澤康 様

● 写真提供

◆ ○○株式会社

◆ 株式会社○○

---

八王子市中心市街地公共トイレ環境づくり基本方針

令和〇年（〇〇〇〇年）〇月

発 行：八王子市

編 集：八王子市拠点整備部市街地整備課

所在地：〒192-8501 東京都八王子市元本郷町三丁目24番1号

電 話：042-620-7393 F A X：042-627-5931

---

あなたのみちを、  
あるけるまち。



八王子